

大潟村（秋田県）について

大潟村（秋田県）は東アジア地域のガン類の渡りにとって非常に重要な生息地です。北陸から関東、東北地方南部で越冬したマガン、ヒシクイなど 27 万羽ものガンの渡りの中継地となっており、特に春季には日本で越冬するマガンやヒシクイ（2 亜種）のほとんどが大潟村を中継地として利用しています。また、シジュウカラガンやハクガンはそのほぼ全てが大潟村を中継地として利用します。

このように渡り性水鳥の重要な生息地でもある大潟村は、EAAFP フライウェイ・ネットワーク・サイトとしても登録（大潟村からの自薦による。）されており、その登録にあたっては、以下の登録基準をクリアしていると評価されました。

- ・ 20,000 羽以上の水鳥を定期的に支えている。
- ・ 水鳥の種又は亜種の総個体数の 1 %以上を定期的に支えている。
- ・ 絶滅のおそれのある渡り性水鳥の個体数の相当数を支えている。